

どうなる!? 庁舎・福祉会館建設

—コロナの影響も！ 厳しい財政状況を背景に—



小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子 通信 第58号

小金井市議会議員

2021年11月発行

五十嵐京子を支援する会



令和2年度一般会計決算、4年連続不認定

庁舎等建設の進め方に大きな問題

この3月に市議選に当選させていただき、7期目をスタートいたしました。

そして、この半年はコロナ対策と庁舎問題に質疑が集中。6月議会では、西岡市長から12月議会に向けて補正予算で庁舎等の建設費を提案するスケジュールが示されましたが、議会からは「新型コロナウイルス感染症の下、市民生活に影響を与えない新庁舎等建設を求める決議」を出し、安心して着工できる財政的裏付けを示さなければ工事着工は困難である旨を市長に伝えました。

そして、9月議会では令和2年度決算での審査、さらに令和3～7年度の中期財政計画（案）の審査を行いました。財政計画は昨年秋にコロナの影響を見込んだ案の修正となり、昨年の見通しと比較し、歳入減は予想より落ち込まないと思われ安心材料もありますが、歳出部分はむしろ膨らんでおり、コロナ以前の計画である建設費84.4億円、総事業費106億円に、更に上乗せされ、

総事業費112億円に膨れ上がり、更に昨今建築資材の高騰も言われています。

西岡市長が手掛けてきた庁舎等建設は、元々平成27年庁舎基金9億円で始まりました。本来建設費の半分位は基金を準備したところですが、現在でも約27億円。当初から、財政上の不安はありました。そして、昨年からコロナ危機で、市議会からは昨年の3月、6月、12月、今年3月、6月とコロナ禍での市民生活優先と、財政見直しを立てての庁舎建設を何度も求めてきました。しかし、結局議会の指摘には耳を貸さず、9月議会でも再度の現在の計画の見直しを求める決議を提出しました。

新たに示された中期財政計画（案）（R3～7年度）から見た懸念材料

- ・コロナ感染症の影響は未だ見通しが立っていない。
- ・令和7年度の財政調整基金の残高見込みは10億円。これは危機的財政状況だった平成24年より低い。
- ・庁舎等建設の起債充当率は、昨年の64%から74%へ上昇。国が認めているという75%ギリギリまで借金で賄う方針。理由は他の事業への影響を考慮して。厳しい財政運営の証。
- ・現在予定されている庁舎建設費84.4億円はコロナ以前に試算されたもので、財政担当部局との協議はしないまま、市民や議会に示されたもの。
- ・ここで更に6億円アップが示された。CM業者へ1億円、ICT整備の3.6億円等。
- ・令和4、5、6年の3年間は毎年投資的経費が74～84億円。清掃関連施設の整備も進んでいてかつてない大きな支出が続く。
- ・学校14校を始めとする公共施設の長寿命化計画が進められるため、工事が続くことになる。

6月と9月の定例会から、一般質問など

6月議会での一般質問

庁舎用地の浸水対策から見える課題



浸水予想区域図については、令和元年6月に都から市に情報が出ていたにも関わらず、1年以上対策の検討がなされず、今年の第一回定例会でようやく対策が示されたことについて、原因究明や今後に向けた反省がなされたのか、問題点がどこにあったのかを質しました。

これまでは庁内での情報共有がなされなかったことが問題と説明されているが、既に情報は共有されており、担当課も業者も書いてあることを読み取れなかったことが問題ではないか、との質問にはそれを認めました。

庁内に専門知識・経験ある人材がなく、限界が

さらに、設計に入る前に議会からは建築関係の専門知識や経験を持つ人材の登用を求めたものの、CM（コンストラクションマネジメント）業者が入るから問題ないとした当時の市の答弁は誤りだったのではないかと、質問にはそれを認めませんでした。実際に情報を共有していた課題管理シートの内容を読み取れなかったのは知識や経験不足ということになります。総額110億円超という小金井市にとっては非常に大きな事業にも関わらず、庁内の推進体制は

手薄であり、外部の業者への依存にも限界があり、それが議会からの質問にも十分に答えられない理由の一つと思われます。

1.2億円かけた浸水対策で、敷地に高低差

さらに、今市がとろうとしている震災対策の盛り土は敷地の一部だけを行うもので、結局敷地には高低差ができ、本来のバリアフリーではない、と指摘しました。こちらは予算が通ったので高低差ができる方法を探ることになりましたが、早く安くの姿勢が将来に禍根を残すことが懸念されます。プラス3千万円、そして約半年の時間を惜しんで将来に使いにくい庁舎にならないよう考えるべきです。

9月議会での一般質問

本町三丁目小長久保公園のコニファーと花壇の庭園の現在

平成14年に貫井南町にあったマザーズガーデンから委嘱されたコニファーと花壇が一体化した小長久保公園の一角地にある庭園は、約20年近く市民による花植えボランティアと市の協働により維持されてきました。しかし、近年コニファーを始めとする植木の剪定が進まず木が伸び枝が繁茂する状態に、こうなると剪定ではどうにもならず既に手遅れの状態と専門家のアドバイスがあ



りました。市民の手による花壇ボランティアの先駆けともなったこの公園についてはなくさないよう検討したい旨の答弁がありました。

市立保育園5園のうち

3園の廃園を提案するも、1年延期に

西岡市長は7月の閉会中の厚生文教委員会で市立保育園を廃園する方針を示しました。しかし、委員会では反対の声や手続きが市民参加条例に違反していないか等の質疑が続く、更に保育園の保護者等関係者からの陳情が9月議会に提案されたことを受け、9月9日の同委員会では、この方針を1年延期することを表明しました。理由は、議会や保護者等からの意見と、日程的に説明会ができないためとしています。

西岡市政になって約6年になりますが、この間約20園の民間保育園が新設され、定員も約2000人から約3700人まで増員。今年4月の待機児は41人ですが、来年4月には更に4園267人増となります。

急増する民間保育園の陰で年齢によっては空き状況が見えるようになり、この間保育園の運営費も急増、市負担分も平成27年の約16億円が令和1年には約31億円に倍増しています。

コロナ関連情報

小金井市のワクチン接種状況

10月17日現在、12歳以上の人口では、全体で79.88%が2回の接種を終えている。

お知らせ

HPから動画配信を見ることができます。

小金井 五十嵐京子

で、検索
HP://igarashi-kyoko.com
トップページで市政のテーマ毎に
月2～3回配信

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第58号

2021年11月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町 3-8-9-312

電話 042-384-9920